

平成21年度 春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成21年12月16日(水)～17(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者68名、委託関係者38名ほか、計127名の参集を得て、除草剤31薬剤(210点)、生

育調節剤5薬剤(32点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成21年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AH-01液 グリホサートナトリウム塩 11.5% [明治製菓、 北興化学工業]	ソ	適用性 継続	愛知農総試 (1)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・展着剤不要 対)ハート液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。
	ミョウガ	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ミョウガ 萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・茎葉処理 ・300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・展着剤不要 対) ハート液剤 300mL<100L>	実・ 継	実) [春夏作;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。
	ミョウガ	適用性 継続	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・展着剤不要 対)ハート液剤 300mL<100L>		継) ・萌芽前処理での効果、薬害の確認
	ミョウガ	薬害 新規	植調研究所 (1)	[倍量薬害] ・ミョウガ 萌芽前(全面処理) →ミョウガ 生育期(畦間処理) ・茎葉処理 ・500mL→500mL<100L>, 1000mL→1000mL<100L>, ・展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AH-01液	アスパラ カス	適用性 継続	植調北海道 (1)	[一年生雑草] ・ 萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 展着剤不要 対)バスタ液 300mL<100>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	アスパラ カス	薬害 新規	植調北海道 長野野花北信(松代) (2)	[倍量薬害] ・ アスパラカス萌芽前(全面処理) →アスパラカス生育期(畦間処理) ・ 茎葉処理 ・ 500mL→500mL<100L>, 1000mL→1000mL<100L>, ・ 展着剤不要		
	ニラ	適用性 継続	山形最上産地研 植調研究所 栃木農試 大分野茶 (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	スイカ	適用性 継続	山形農研園試 石川砂丘地 鳥取園試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	カボチャ	適用性 継続	北海道花・野菜 宮城園研 石川植防 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	ピーマン	適用性 継続	南九州大学 鹿児島農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 継) ・ 定植直前処理での薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AH-01液	ギボウシ	適用性 継続	山形農研園試 <中間> (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対) ハービ-液剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。
	ギボウシ	薬害 新規	山形農研園試 <中間> 山形最上産地研 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100L>, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
2. AK-01液 クマサートイソフ'ロビ'ルアミン 塩 41% [TAC普及会]	ホウレンソウ	適用性 新規	宮城園研 植調研究所 栃木農試 愛知農総試 京都農技丹後 福岡豊前 (6)	[一年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200mL<100L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし 500mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ホウレンソウ	薬害 新規	新潟農総園研 植調研究所 (2)	[倍量薬害] ・ 耕起7日前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100L>, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
	ニンジン	適用性 新規	植調青森 新潟農総園研 植調研究所 愛知農総試 岐阜農技 南九州大学<中間> (6)	[一年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200mL<100L>, 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし 500mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ニンジン	薬害 新規	植調青森 岐阜農技 (2)	[倍量薬害] ・ 耕起7日前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100L>, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
3. AKD-7164水和 シアナジン 50% [アグロネショウ]	タマネギ (直播)	適用性 継続	北海道花・野菜セ 北海道北見農試 (2)	[一年生雑草(マコガを除く)] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 土壌処理 ・ 50, 75, 100g<100L> 対) 一任	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草(マコガを除く)] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 75~100g<100L>/10a

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. ALH-0731乳 ブ ロビ ソクロール 76.2% [アリスタ ライフサイエンス]	タマネギ	適用性 新規	北海道花・野菜 北海道北見農試 (2)	[一年生雑草] ・ 定植活着後 雑草発生前 ・ 土壌処理 ・ 200, 250, 300mL<100L> ・ 展着剤不要 対)ゴ-ゴ-サン乳剤 400mL<100L>	継	継) ・ 効果、葉害の確認
	タマネギ	適用性 新規	北海道花・野菜 北海道北見農試 (2)	[一年生雑草] ・ 定植活着後 雑草発生始期 ・ 土壌処理 ・ 200, 250, 300mL<100L> ・ 展着剤不要 対)ゴ-ゴ-サン乳剤 400mL<100L>		
5. ANK-553細粒 ベ ンデ ィメタリン 2% [BASF ジャパン]	レタス	適用性 継続	岩手農研南部 (1)	[一年生雑草(キ科、ツクサ科を除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 土壌処理 ・ 4, 5, 6kg 対)ゴ-ゴ-サン乳剤30 300mL<100L>	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草(キ科、ツクサ科を除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~6kg/10a
	サトイモ	適用性 継続	新潟農総園研 植調研究所 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草(キ科、ツクサ科を除く)] ・ 植付前 雑草発生前 ・ 土壌処理 ・ 4, 5, 6kg	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草(キ科、ツクサ科を除く)] ・ 植付前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~6kg/10a 注) ・ 植穴付近の雑草には効果が期待できない ・ 畝肩(斜面部)では効果が劣ることがある
6. BAH-0805乳 ジメナト P 21.25%, ベ ンデ ィメタリン 25% (w/v) [BASF ジャパン]	タマネギ	適用性 継続	北海道農研 北海道花・野菜 北海道北見農試 (3)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 土壌処理 ・ 200, 300, 400mL<100L> 対)ゴ-ゴ-サン乳剤30 400mL<100L>	保 留	[春夏作、露地; 一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 200~400mL<100L>/10a
	サトイモ	適用性 継続	植調研究所 三重農研 植調鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草(一年生アカツメ科を含む)] ・ 植付後萌芽前 雑草発生前 ・ 土壌処理 ・ 70, 130mL ・ 展着剤不要 対)デュアル乳剤 300mL<100L>	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 70~130mL<100L>/10a 注) ・ 高薬量処理では葉が黄化することがある

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. HCW-2017アンプル DCMU 50% [保土谷UPL]	ヤマノイモ	適用性 継続	北海道十勝農試 青森産技野菜研 三重農研<中間> 奈良農総試 (4)	[一年生雑草] ・ 植付後萌芽前、 雑草発生前～始期(イネ科雑草3 葉期以内) ・ 茎葉兼土壌処理 ・ 100, 150, 200mL<100L> ・ 展着剤加用 対)ロックス水和剤 100g<100L>	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草発生始期 (イネ科雑草3葉期以内) ・ 茎葉兼土壌処理 ・ 100～200mL<100L>/10a 注) ・ イネ科雑草が2葉期を越える場合 は、展着剤を加用する
9. Hoe-866液 グルホシネート 18.5% [ハ°イセル クロップ サイエンス]	タケノコ	適用性 継続	植調研究所 植調埼玉 福岡林業 (3)	[一年生雑草] (除草効果) ・ タケノコ生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> (タケノコへの影響) ・ タケノコ発生直前 ・ 土壌処理 ・ 300mL<100, 150L>, 500mL<100L>	実	実) [一年生雑草] ・ タケノコ生育期 タケノコ萌芽前 雑草生育期 ・ 雑草茎葉処理 ・ 300～500mL<100～150L>/10a 注) ・ タケノコに飛散しないように散布す る ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
10. NC-3607アンプル キザロホップ エチル 7% [日産化学工業]	キャベツ	適用性 新規	福島浜地域<中間> 香川農試 (2)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・ キャベツ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 200mL<100L> ・ 展着剤不要 対)一任	継	継) 効果、被害の確認
	ハクサイ	適用性 新規	福島農総試 長野野花(塩尻) (2)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・ ハクサイ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 200mL<100L> ・ 展着剤不要 対)一任	継	継) 効果、被害の確認
11. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	キュウリ	適用性 継続	岩手農研南部 植調研究所 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズルを使用す る) 注) ・ 作物に飛散しないように散布 する ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
	キュウリ	薬害 継続	植調研究所 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 ・ 畦間茎葉処理 500, 1000mL<25L> ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液	ナス	適用性 継続	新潟農総園研 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作:一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・ 作物に飛散しないように散布する ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
	ピーマン	適用性 継続	石川砂丘地 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作:一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・ 作物に飛散しないように散布する ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
	ピーマン	薬害 継続	<石川砂丘地> (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25L>, ・ 展着剤不要		
	ダイコン	適用性 継続	植調青森 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作:一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・ 作物に飛散しないように散布する ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
	薬用ニンジン	適用性 新規	福島会津 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 400mL<25L> ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	薬用ニンジン	薬害 継続	福島会津 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 400, 800mL<25L> ・ 展着剤不要		
	タラキ	適用性 継続	徳島中山間<中間> (1)	[一年生雑草] ・ 穂木採取前(タラキ生育期) 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>、400mL<25L> ・ 展着剤不要 対)ラクトアップハイポート 500mL<25L>	実	実) [春夏作:一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 雑草茎葉処理 ・ 200~400mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・ タラキに飛散しないように散布する ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する
	タラキ	薬害 継続	山形最上産地研 (1)	[倍量薬害] ・ 穂木採取3日前(タラキ生育期) 雑草生育期 ・ 茎葉処理 ・ 400, 800mL<25L> ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
12. NP-55乳 セトキシメ 20% 〔日本曹達〕	カボチャ	適用性 継続	植調北海道 (1)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3-5葉期) ・ 茎葉処理 ・ 150mL<100, 150L>, 200mL<100L> ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作、露地;一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3-5葉期) ・ 茎葉処理 ・ 150~200mL<100~150L>/10a
13. SL-121顆粒水和 既知化合物A 7%, 既知化合物B 20% 〔石原産業〕	ニンジン	作用性 新規	植調北海道 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ①播種後出芽前 雑草発生前 ②ニンジン出芽始~出芽揃期 雑草発生前~始期 ③ニンジン生育期(3~5葉期) 雑草発生前~生育期 ・ 全面茎葉兼土壌処理 ・ 250, 375, 500g<100L> ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ニンジン	適用性 新規	植調青森 南九州大学<中間> (2)	[一年生雑草] ・ ニンジン生育期(3~5葉期) 雑草発生前~生育期 ・ 全面茎葉兼土壌処理 ・ 250, 375, 500g<100L> ・ 展着剤不要 対)一任		
14. SL-122顆粒水和 既知化合物A 7%, 既知化合物B 30% 〔石原産業〕	ニンジン	作用性 新規	植調北海道 植調研究所 (2)	[一年生雑草] ①播種後出芽前 雑草発生前 ②ニンジン出芽始~出芽揃期 雑草発生前~始期 ③ニンジン生育期(3~5葉期) 雑草発生前~生育期 ・ 全面茎葉兼土壌処理 ・ 170, 250, 330g<100L> ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ニンジン	適用性 新規	植調青森 南九州大学<中間> (2)	[一年生雑草] ・ ニンジン生育期(3~5葉期) 雑草発生前~生育期 ・ 全面茎葉兼土壌処理 ・ 170, 250, 330g<100L> ・ 展着剤不要 対)一任		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
15. SL-236(L) 乳 フルアジホップ Pフチル 17.5% [石原産業]	タマねぎ	適用性 新規	北海道農研 北海道北見農試 植調北海道 (3)	[一年生イネ科雑草] ・ タマねぎ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 75, 100mL<25, 50L> 100mL<25L> ・ 展着剤不要 対)ワシタイトP乳 100mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作、露地; 一年生イネ科雑 草(スズメノカタビラを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 50～75mL<100L>/10a ・ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 75～100mL<25～100L>/10a (水量25～50Lは専用ノズルを使用 する) 継) ・ 水量25～50L処理での年次変動 の確認(北海道)
16. TMZ-9911液 珪化チル 99% [アリス ライフサイエンス]	ねぎ(直 播)	適用性 継続	植調研究所 奈良農総セ 島根農技 広島農技 (4)	[一年生雑草] ・ 播種前 雑草生育前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 10, 15, 20kg 対)バスマイト微粒剤 30kg 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起(3日間放置) →播種	実 ・ 継	実) [春夏作、露地または施設; 一 年生雑草] ・ 播種前 雑草発生前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 15～20kg/10a 注) ・ 薬剤容器を被覆資材下に設置 し、くん蒸処理後3日間密閉、放 置する。処理4日後に被覆除去 し、処理後7日を目安に耕起す る。耕起4日以後に植付ける。 ・ 過湿条件では出芽抑制を生ず ることがある ・ カツラグサには効果が劣る 継) ・ 10kg/10a処理での効果の確認
	ショウガ	適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康F (2)	[一年生雑草] ・ 植付前 雑草生育前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 10, 15, 20kg 対)カオルクリン液 30L(3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起(3日間放置) →定植	継	継) ・ 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈〉は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
17. YF-65L液 ジクワット 7%, パラコート 5% [シンジエンタ シェパソ]	アスパラ ガス	適用性 新規	長野野花北信(松代) 福岡筑後 (2)	[一年生雑草] ・ アスパラガス萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
18. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 44.7% [シンジエンタ シェパソ]	アスパラ ガス	適用性 継続	長野野花北信(松代) 福岡筑後 (2)	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・ 収穫打ち切り後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 500mL<25, 100L>, 1000mL<25L> ・ 展着剤不要 対)ハビター液剤 750mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	アスパラ ガス	薬害 継続	長野野花北信(松代) 福岡筑後 (2)	[倍量薬害] ・ 収穫打ち切り後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 500mL<25L>, 1000mL<25L>, 2000mL<25L> ・ 展着剤不要		
	キュウリ	適用性 新規	岩手農研南部 植調研究所 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	キュウリ	薬害 新規	植調研究所 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 展着剤不要		
	トマト	適用性 新規	植調研究所 長野野花(塩尻) 大分野茶久住 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	トマト	薬害 新規	植調研究所 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ZK-122液	ナス	適用性 新規	岩手農研南部 京都農技丹後 島根農技 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	ナス	薬害 新規	京都農技丹後 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 展着剤不要		
	イチゴ	適用性 新規	植調研究所 栃木農試いちご研 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 展着剤不要	継	(継) ・ 効果、薬害の確認
	イチゴ	薬害 新規	植調研究所 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 展着剤不要		

B. 平成20年度秋冬作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. ANK-553乳 ベンデメタリン 30% [BASFジャパン]	ニンニク	自主 新規	青森産技野菜研 (1)	[薬害試験] ・ 植付後マルチ前 ①処理当日マルチンク ②処理2〜3日後マルチンク ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<100> 対) 一任	一	・ 従来の判定どおり
2. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ナス	適用性 新規	宮崎総農試 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 展着剤不要	継	(継) ・ 効果、薬害の確認

B. 平成20年度秋冬作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. トリフルアリン乳 トリフルアリン 44.5% [カク・ケミカル日本]	ニンニク	自主 新規	青森産技野菜研 (1)	[薬害試験] トリフルアリン乳単用 ・ 植付後マルチ前 ①処理当日マルチンク ②処理2～3日後マルチンク ・ 土壌処理 ・ 300, 600mL<100> トリフルアリン乳とリニオン水和の混用 ・ 植付後マルチ前 ①処理当日マルチンク ②処理2～3日後マルチンク ・ 土壌処理 ・ トリフルアリン300mL+リニオン150g <100>	一	・ 従来の判定どおり
4. リニオン水和 リニオン 50% [デューボン]	ニンニク	薬害 新規	青森産技 青森産技野菜研 (2)	[薬害試験] ・ 植付後マルチ前 ①処理当日マルチンク ②処理2～3日後マルチンク ・ 土壌処理 ・ 150, 300g<70> 対) 一任	一	・ 従来の判定どおり

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 ダネソートPナトリウム塩 11.5% [明治製菓、 北興化学工業]	キク	適用性 継続	北海道花・野菜セ 福島農総セ 長野野花北信(松代) (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	実 ・ 継	実) [春夏作(花き);一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300～500mL<100～150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。 ・ 試験された花き; キク、カーネーション、ストック、ユリ、リンドウ
	キク	薬害 新規	北海道花・野菜セ 長野野花北信(松代) (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
	ストック	適用性 継続	新潟農総園研 <中間> 広島農技 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>		

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判定	判定内容
AH-01液	ストック	薬害 新規	新潟農総園研 〈中間〉 広島農技 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
	ユリ	適用性 継続	新潟農総園研 鹿児島農総 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>		
	ユリ	薬害 新規	新潟農総園研 鹿児島農総 (2)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
	リンドウ	適用性 継続	岩手農研 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・ 展着剤不要 ・ 対)バスタ液剤 300mL<100L>		
2. AKD-7175粒 DBN 1.2%, シアシン 3% [アケカネショウ]	アヘリア 類	適用性 継続	植調研究所 福岡果樹苗木 (2)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 雑草発生初期 (草丈20cm以下) ・ 土壌処理 ・ 20, 30, 40kg	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ツツジ・サ ツキ	適用性 継続	植調研究所 埼玉森林緑化研 三重農研鈴鹿 岡山北部 (4)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 雑草発生初期 (草丈20cm以下) ・ 土壌処理 ・ 20, 30, 40kg	実・ 継	実) [ツツジ・サツキ]; 一年生雑草、多年生広葉雑草 ・ 生育期 雑草発生初期(草丈20cm以下) ・ 土壌処理 ・ 20~40kg/10a 注) ・ 植付後1年未満の樹には使用しない 継) ・ スギナに対する効果の確認 ・ 連年使用した場合の薬害の確認
	ヘニカナ モチ	適用性 継続	東日本G研 三重農研鈴鹿 (2)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・ 雑草発生初期 (草丈20cm以下) ・ 土壌処理 ・ 20, 30, 40kg	継	継) ・ 効果、薬害の確認

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
3. GG-180粒 シアナジン 1%, DBN 0.5% [日本グリーンアント・ガーデン]	ツツシ・サツキ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草、スギナ] ・雑草生育期(草丈20cm以下) ・土壌処理 ・20, 30, 40kg	継	継) ・効果、薬害の確認
4. HPW-101粒 オキサリジン 1.1%, ペスロジン 1.1% [保土谷UPL]	ツツシ・サツキ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・生育期 雑草発生前 ・土壌処理 ・10, 15, 20kg 対)スナップショット粒剤 6kg	実・継	実) [(ツツシ・サツキ); 一年生雑草(キ科を除く)] ・生育期 雑草発生前 ・土壌処理 ・10~20kg/10a 継) ・連年使用した場合の薬害の確認
5. MRS-199液 グリホサートイソプロピルアミン塩 1% [ニューファム]	アブラチャ	適用性 継続	植調研究所 埼玉森林緑化研 (2)	[一年生雑草、多年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25, 40L (希釈せずそのまま散布) ・展着剤不要 対)ラクトアップハイポート液剤 250mL<50L>	実・継	実) [(ツツシ・サツキ、アブラチャ、サクラ); 一年生雑草、多年生広葉雑草(スギナを除く)] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25~40L/10a(希釈せずそのまま散布) 注)
	サクラ	適用性 継続	山形農研園試 千葉大園芸 (2)	[一年生雑草、多年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25, 40L (希釈せずそのまま散布) ・展着剤不要 対)ラクトアップハイポート液剤 250mL<50L>		・専用容器を使用する。 ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。 継) ・多年生イネ科雑草に対する効果の確認
	ツバキ・サザンカ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 千葉大園芸 (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25, 40L (希釈せずそのまま散布) ・展着剤不要 対)ラクトアップハイポート液剤 250mL<50L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	レンギョウ	適用性 継続	山形農研園試 植調研究所 (2)	[一年生雑草、多年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25, 40L (希釈せずそのまま散布) ・展着剤不要 対)ラクトアップハイポート液剤 250mL<50L>	実・継	実) [(レンギョウ); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25~40L/10a(希釈せずそのまま散布) 注) ・専用容器を使用する。 ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。 継) ・多年生雑草に対する効果の確認

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
6. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% 〔日産化学工業〕	キク	適用性 継続	北海道花・野菜 奈良農総セ花 鹿児島農総セ (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L>	実 ・ 継	実) [春夏作(花き); 一年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズルを使用) ・ 試験された花き; キク、カーネーション、ストック、ヒマワリ、ユリ (継) ・ 耕起直前処理の薬害について年 次変動の確認 ・ 多年生雑草に対する効果の確認
	キク	薬害 継続	福岡農総試 鹿児島農総セ (2)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<25L>		
	カーネーション	適用性 継続	茨城農総研<中間> 広島農技 (2)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L>		
	カーネーション	薬害 継続	茨城農総研<中間> (1)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<25L>		
	ストック	適用性 継続	福島農総セ 岐阜農技研 広島農技 山形置賜産地研 (H20分) (4)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L>		
	ストック	薬害 継続	山形置賜産地研 広島農技 (2)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<25L>		
	ヒマワリ	適用性 継続	北海道農研 山形置賜産地研 (2)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L>		
	ヒマワリ	薬害 継続	福島農総セ (1)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<25L>		
	ユリ	適用性 継続	新潟中山間地 山口花き振興 鹿児島農総セ (3)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L>		

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 〔対象雑草; ねらい〕 ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液	ユリ	薬害 継続	新潟中山間地 (1)	〔倍量薬害〕 ・ 耕起直前 ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<25L>		
7. SYJ-175液 グリホサートカリウム塩 0.86% 〔シジエンタ ジャパン〕	ツツジ・ サツキ	適用性 継続	植調研究所 植調埼玉 三重農研鈴鹿 鳥取園試 岡山北部 福岡果樹苗木 (6)	〔一年生雑草、多年生雑草〕 ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 雑草茎葉処理 ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ねツギ AL 100L(希釈せずそのまま散布)	実	実) 〔(花木); 一年生雑草、多年生 広葉雑草〕 ・ 生育期 雑草生育期 ・ 茎葉処理 ・ 25~50L/10a(希釈せずそのま ま散布) 注) ・ 専用容器を使用する。 ・ 雑草の草丈30cm以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。 ・ 試験された花木; ツツジ・サツキ、アベリア、サザンカ、ハナミ ズキ、ヘーニカナモチ
	アベリア	適用性 継続	千葉大園芸 福岡果樹苗木 (2)	〔一年生雑草、多年生雑草〕 ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 雑草茎葉処理 ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ねツギ AL 100L(希釈せずそのまま散布)		
	ツバキ・ サザンカ	適用性 継続	東日本G研 岡山北部 新中国G研 (3)	〔一年生雑草、多年生雑草〕 ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 雑草茎葉処理 ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ねツギ AL 100L(希釈せずそのまま散布)		
	ハナミズキ	適用性 継続	千葉大園芸 新中国G研 (2)	〔一年生雑草、多年生雑草〕 ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 雑草茎葉処理 ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ねツギ AL 100L(希釈せずそのまま散布)		
	ヘーニカナ モチ	適用性 継続	東日本G研 千葉大園芸 新中国G研 (3)	〔一年生雑草、多年生雑草〕 ・ 生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 雑草茎葉処理 ・ 25, 50L (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ねツギ AL 100L(希釈せずそのまま散布)		

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. YF-65L液 ジクワット 7%, バレーコート 5% [シンシエント ジャパン]	キ	適用性 継続	宮城園研<中間> 長野野花北信(松代) (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 600, 1000mL<150L> 対) プリク ロックス液 600mL<100L>	実	実) [春夏作(キ); 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 600~1000mL <100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈20cm以下で散布 する。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	カーネーション	適用性 新規	茨城農総研<中間> 長崎農技<中間> (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> 対) バス液 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ストック	適用性 新規	山形置賜産地研 岐阜農技研 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> 対) バス液 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ユリ	適用性 新規	新潟農総園研 鹿児島農総 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> 対) バス液 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	リンドウ	適用性 新規	岩手農研 茨城農総研 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> 対) バス液 300mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	キ	薬害 新規	宮城園研 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 1000mL<100L> 2000mL<100L>	—	(倍量薬害)

D. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. T-2000S粒 シュート・モナスフルオレセンズ FPT-9601株 10 ³ cfu/g固定土 [多木化学]	レタス	適用性 継続	長野野花(塩尻) 福岡豊前 (2)	[育苗期の伸長抑制] ・ 播種時 ・ 覆土として使用 ・ 400mL/200穴トレイ	実	実) [春夏作(レタス);育苗期の伸長抑制] ・ 播種時 ・ 400mL/200穴トレイ ・ 覆土として使用

E. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. NGR-081水溶 イソプロパチオン 0.01% [日本農薬]	カーネーション	作用性 新規	植調研究所 (1)	[発根促進] ・ 定植前 ① 挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ② 挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・ 対)オキシヘン液 慣行量	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	カーネーション	適用性 新規	広島農技<中間> 長崎農技<中間> (2)	[発根促進] ・ 定植前 ③ 挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ④ 挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・ 対)オキシヘン液 慣行量		
	キ	適用性 継続	宮城園研 愛知東三河 福岡農総試 沖縄農研<中間> (4)	[発根促進] ・ 定植前 ⑤ 挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ⑥ 挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・ 対)オキシヘン液 慣行量	実・ 継	実) [キ;発根促進] ・ 定植前 ・ 挿し穂基部浸漬 10~50mL/水1L(1~5ppm) 10秒~1時間 ・ 挿し穂全体浸漬 5mL/水1L(0.5ppm) 10秒~1時間 継) ・ 年次変動の確認
2. YS-071液 ケニコナゾールP 0.0016% [ヤマ産業]	ペチュニア	適用性 継続	宮城園研 神奈川農技 長野野花北信(松代) (3)	[莖葉伸長抑制による小型化] ・ ①定植後(定植後3日程度) ②剪定後 ・ アップルを土壤に挿入 ・ 1本/株 (33mLアップルP 0.0016%) 5号鉢を使用 対) ビーナイン水溶剤80 100~200倍 莖葉散布	実	実) [ペチュニア;莖葉伸長抑制による小型化] ・ 定植時(定植後3日以内)または 剪定時(剪定後3日以内) ・ 1本/株 (33mLアップルP) ・ アップルを土壤(株元)に挿入

E. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. ガミジット® 水溶 ガミジット® 80% [日本曹達]	アザレア	適用性 継続	山形農研園試 ＜中間＞ ＜新潟農総園研＞ 福岡果樹苗木 ＜中間＞ (3)	[節間伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ 茎葉処理 ・ ①摘芯後 1回 (摘芯約1ヶ月後) ②摘芯後 2回 (2回目は1回目の約1ヶ月後) ③摘芯後 3回 (3回目は2回目の1-2ヶ月後)	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ハボタン	適用性 継続 (新し い処理 時期と しては 新規)	山形置賜産地研 兵庫農技 奈良農総花 広島農技 (4)	[節間伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ 茎葉処理 ・ ①播種後 1回 (播種10日後) ②播種後 2回 (2回目は播種20日後) ③播種～鉢上げ後 4回 ・ (3回目は鉢上げ3～5日後、4回 目は3回目処理1週間後)	実	実) [ハボタン;節間伸長抑制] ・ 子葉展開時～鉢上げ後 ・ 200～400倍希釈 ＜散布水量50～150L>/10a 十分量 4回以内 ・ 茎葉処理 注) ・ 処理時期が遅い場合には、着色 (発色)が遅延することがある
	パンスー	適用性 継続	群馬農技 ＜神奈川農技＞ 岐阜農技研 福岡農総試 (4)	[節間伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ 茎葉処理 ・ ①鉢上げ後 1回 (鉢上げ約1週間後) ②鉢上げ後 2回 (2回目は1回目の1～2週間後) ③鉢上げ後 4回 (3回目は2回目の1～2週間後、4 回目は3回目の1～2週間後)	実 ・ 継	実) [パンスー;節間伸長抑制] ・ 鉢上げ後 ・ 200～400倍希釈 ＜散布水量50～150L>/10a 十分量 4回以内 ・ 茎葉処理 注) ・ 開花が遅延することがある ・ 白花色部が黄化することがある (継) ・ 年次変動の確認
	ベチュニア	適用性 継続	山形置賜産地研 神奈川農技 (2)	[節間伸長抑制] ・ 200, 400倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ 茎葉処理 ・ ①鉢上げ後 1回 (鉢上げ約1週間後) ②鉢上げ後 2回 (2回目は1回目の1～2週間後) ③鉢上げ後 4回 (3回目は2回目の2-3週間後、4 回目は3回目の1～2週間後)	継	継) ・ 効果、薬害の確認

E. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. ダミジットスプレー ダミジット 0.4% [日本曹達]	アザレア	適用性 継続	<新潟農総園研> (1)	[節間伸長抑制] ・ ①摘芯後 1回 (摘芯約1ヶ月後) ②摘芯後 2回 (2回目は1回目の約1ヶ月後) ③摘芯後 3回 (3回目は2回目の1-2ヶ月後) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布)	保 留	(試験中)
	ハボタン	適用性 新規	兵庫農技 奈良農総と花 鳥取園試 (3)	[節間伸長抑制] ・ ①播種後 1回 (播種10日後) ②播種後 2回 (2回目は播種20日後) ③播種～鉢上げ後 4回 ・ (3回目は鉢上げ3～5日後、4回 目は3回目処理1週間後) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布)	継 続	継) 効果、薬害の確認
	ベチュニア	適用性 新規	宮城園研 神奈川農技 長野野花北信(松代) (3)	[節間伸長抑制] ・ ①定植後 1回 (定植約1週間後) ②定植後 2回 (2回目は1回目の約1週間後) ③定植後 4回 (3回目は2回目の1-2週間後、4 回目は切り戻しの直後) ④定植後 6回 (5回目は4回目の約1週間後、6 回目は5回目の1-2週間後) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布)	継 続	継) 効果、薬害の確認